

船舶事故等調査報告書

平成25年3月28日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2012横第214号
事故等種類	運航不能（絡索）
発生日時	平成24年12月1日（土） 12時30分ごろ
発生場所	神奈川県横須賀市横須賀港 横須賀港西防波堤灯台から真方位351° 1, 100m付近 （概位 北緯35° 17.9′ 東経139° 41.0′）
事故等調査の経過	平成24年12月10日、本インシデントの調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	ヨット <sup>あかね</sup> 茜Ⅱ、5トン未満（長さ7.13m） 242-11892 神奈川、個人所有
乗組員等に関する情報	船長、一級小型船舶操縦士
死傷者等	なし
損傷	なし
事故等の経過	本船は、船長ほか2人が乗船し、横須賀市猿島沖から神奈川県横浜市所在のマリーナを目指し、横須賀港を帆走で北西進中、風と波が強くなったので機帆走に切り換えたところ、海上に浮遊中の発泡スチロールに取り付けられたロープがプロペラに絡み、平成24年12月1日12時30分ごろ運航不能となった。 本船は、ボートレスキューサービスのモーターボートにえい航されてマリーナに帰航した。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北北東、風力 4、視界 良好 海象：潮汐 低潮時
その他の事項	本船は、船長が前の帆を下ろす間に迷走し、発泡スチロールのロープの近くを通過したが、船長がこのことに気付かずに機帆走に切り換えた。 船長は、本インシデント発生場所付近を約30回航行した経験があった。
分析 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし 本船は、横須賀港内を北西進中、帆走から機帆走に切り換える際、船長が、見張りを適切に行っていなかったことから、発泡スチロールに取り付けられたロープが近くにあることに気付かずに機関を始動し、プロペラに同ロープが絡んで運航不能となったものと考えられ

	る。
<b>原因</b>	本インシデントは、本船が、横須賀港内を北西進中、帆走から機帆走に切り換える際、船長が、見張りを適切に行っていなかったため、発泡スチロールに取り付けられたロープが近くにあることに気付かずに機関を始動し、プロペラに同ロープが絡んだことにより発生したものと考えられる。
<b>参考</b>	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 ・ 漁具や浮遊物に対する見張りを適切に行うこと。